

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 3 月 31 日

事業名称		児童措置管理事務費 [利用者支援事業・保育コンシェルジュ事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 2	児童措置費	事業番号	1			
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	保育		課		保育・幼稚園		係	課長名	関田 孝志		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 4			
【施策名】 児童福祉の推進							総合計画書 (ページ)	59			
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 地域の子育て支援事業等の利用を希望する「保護者（妊婦を含む）」の数。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 0～5歳の児童数（平成31年4月1日時点）						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 多様な教育・保育施設や地域の子育て支援事業等が理解でき円滑に利用できるようにします。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 相談対応可能な日数						
	③ そのために何をしましたか。 相談場所・相談時間等は、保護者や関係機関の要望に添えるよう、保育課窓口以外相談者の身近な場所で実施しました。 相談員を配置し、教育・保育施設や子育て支援事業等の情報提供及び収集や、必要に応じて相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施しました				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 相談件数						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	4,426	4,321	4,167					
	成果指標	②の数値	日	244.0	244.0	242.0					
	目 標	②の目標値		244.0	244.0	242					
		目標値設定の考え方									
3 経費	事業費（実績）		円	0	3,377,158	3,936,054	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	3,040,000	3,225,158	765,248					
		特定財源	円	3,797,000	3,171,000	6,145,000					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0	0	0.0					
		所要人数(再任用)	人	2.0	1.0	1.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	0	0	0					
		職員人件費(再任用)	円	6,837,000	3,019,000	2,974,194					
事業費+人件費		円	6,837,000	6,396,158	6,910,248						
4 環境変化等	(1) 開始年度 27 年度										
	(2) 環境の変化 1 平成29年度から相談員を1人加配し、計2人の配置を継続した。 2 利用者支援事業実施要綱（三次改正平成30年6月27日）に基づいて実施に努めた。 3 待機児童支援の他医療的ケア児の保育施設利用継続に係る相談も行った。										

事業名称	児童措置管理事務費 [利用者支援事業・保育コンシェルジュ事業]			
担当部署・課長名	保育	課	保育・幼稚園	係 課長名 関田 孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 相談者からは、多様化している教育・保育施設について理解ができるまでの相談、家庭にあった預け先を探す方法、その他保護者や家族の健康等についても相談先の担当者を紹介してもらいできて安心した、保育施設等の利用継続への相談もできて良かったという意見があった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（2）を転記） 相談員の加配により、相談者の都合等に応じて窓口相談以外（家庭訪問・出張相談）等柔軟に対応できるようになった。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	引き続き、相談員を確保し、相談者及び関係機関の要望等に応じて相談場所を窓口相談以外（家庭訪問・出張相談・土曜相談）等で柔軟に対応できるように取り組んだ。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 子育て支援に係るコンシェルジュの役割は大変重要となっている。コンシェルジュには専門知識の他、看護師、保育士などの経験値等が必要であり、今後はコンシェルジュの後任を担う人材の育成が課題である。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 安心して子育てができるよう、引き続き、市民への周知・理解に努める。 また、子どもの「最善の利益」を実現させる観点から、子ども及びその保護者等、又は妊婦への対応に十分配慮して取り組む。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	広報等を活用し、事業の周知に努める。			